

モールス練習機を作ろう

製作手順

- 1 キットから説明書を取り出し目を通す。
- 2 部品が全て揃っているか確認する。
 - (1) 説明書の部品表とキットの部品を照合する。
 - (2) 配線材を確認する。（事務局で準備したもの）
 - 長さ12～13cmのビニール線（8本）
 - 長さ約25cmの赤黒平行2線ビニールコード
 - (3) スピーカー付プラスチックケースを確認する。（事務局で準備したもの）
 - * プラスチックケースはJ A 7 O E T・阿部OMの提供です。電池ボックス部分の蓋がありませんが、実用上問題はありません。
 - * スピーカーは今回1個だけ購入しました。後の5個はJ A 7 I U Xの提供です。
 - * ケースの加工とスピーカーの取り付けは、事前に事務局で行いました。
- 3 基板の加工

キット付属の説明書内「製作(2)」に説明があります。部品を取り付ける前にやらないと大変なことになります。ご注意ください。
- 4 部品の取り付け（半田付け）

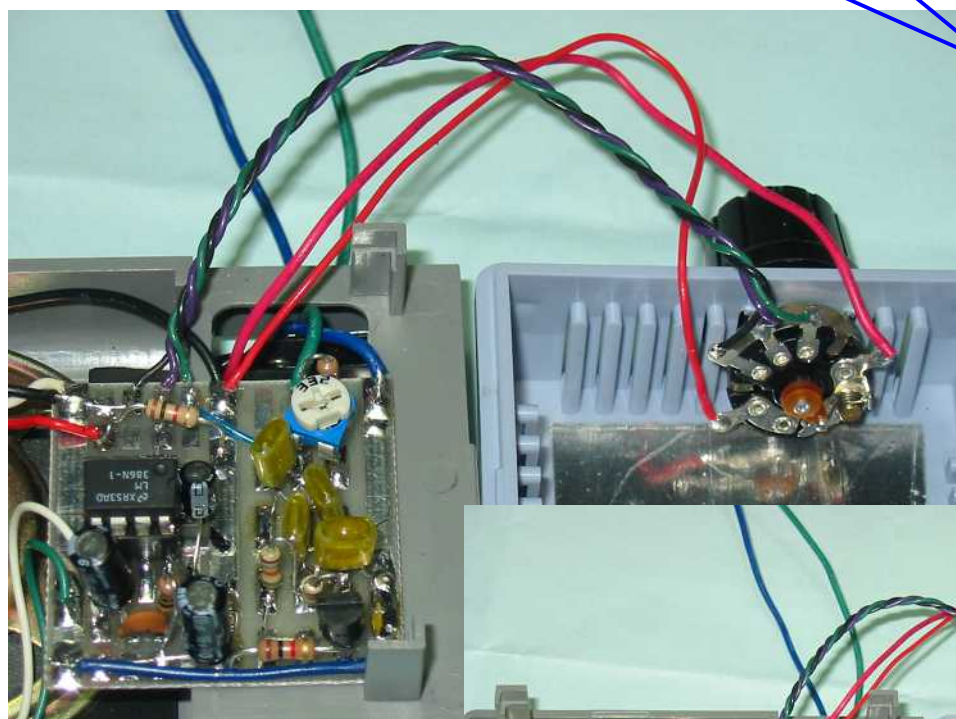
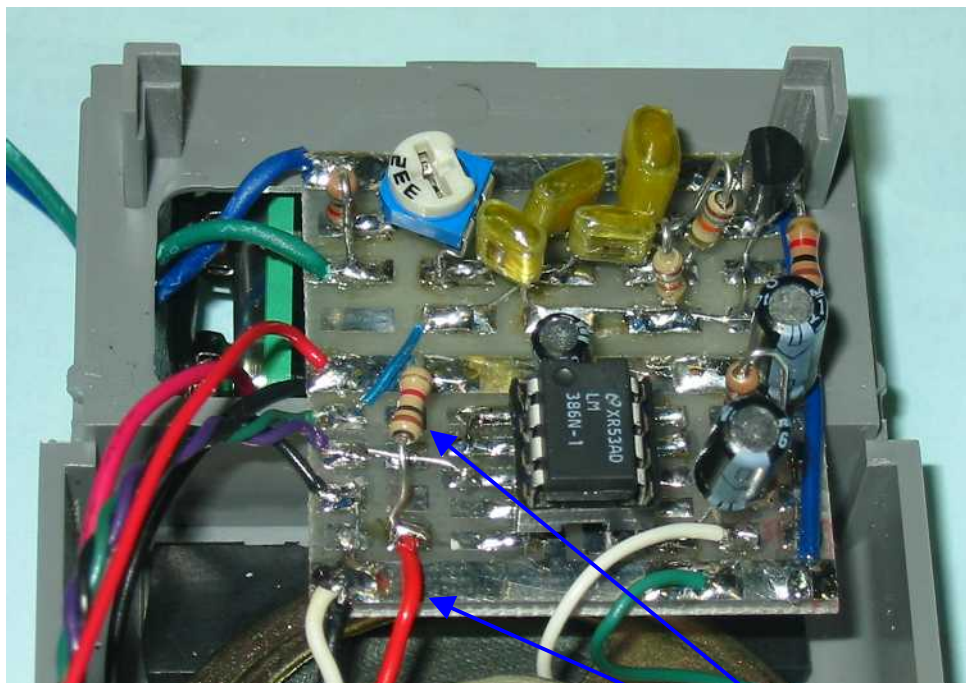
基板の中央部から外側に向かって取り付けていくとやり易いと思います。思いのほか混み合いますので順番を考えて作業して下さい。また、部品のリード線はできるだけ短めにして下さい。リード線を長い状態で取り付けた場合はケースに収まらない場合があります。
- 5 出来上がった基板の確認

回路図や部品実装図と現物を照合し、取り付けの間違いないか確認して下さい。
- 6 ボリューム、スピーカー、電鍵、電池用スナップへの配線

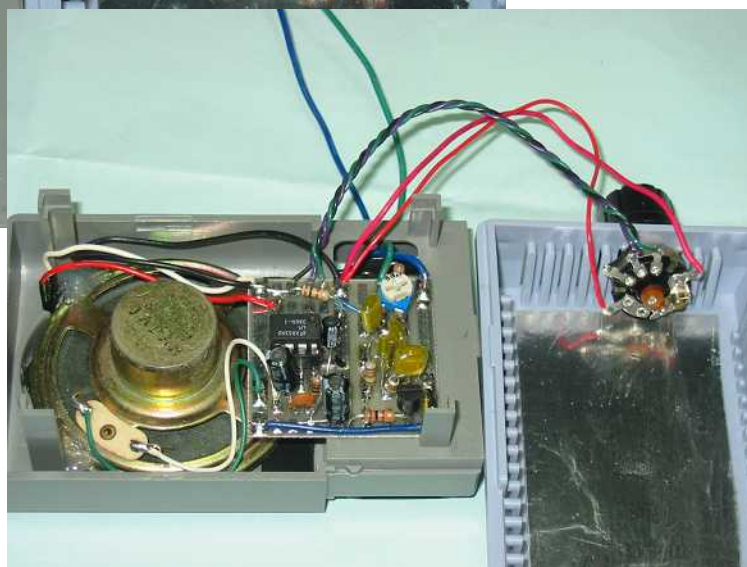
プリント基板から各所へビニール線で接続（半田付け）して下さい。なお、ボリュームはスイッチ付です。電池用スナップのプラス側を、このスイッチを経由して基板に配線して下さい。
- 7 プリント基板の取り付け

基板の裏側に両面テープが貼ってありますので、それを利用して、プラスチックケースの電池ボックス裏側に取り付けます。
- 8 動作テスト

電池を取り付け、動作テストをし、問題がなければケースを閉じて完成です。



この抵抗と赤・白の線はLEDをパイロットランプとして使用する場合があります。(キットには入っていない部品です。)



- 抵抗の見方
 10Ω : 茶黒黒金
 $1K\Omega$: 茶黒赤金
 $18K\Omega$: 茶黒橙金
- キットの部品表でFCと表示されているのはフィルムコンデンサ (黄色い部品)
- $10\mu F$ と $100\mu F$ は電解コンデンサ (円筒形で極性あり)